

1年前に足を骨折しました。左脛骨高原骨折です。チタンプレートが入っています。取るか置いておくか悩んでいます。医師の意見を聞きたいです。(71歳、女性)

脛骨高原骨折



新倉隆宏医師

膝から足首までには2本の骨があり、内側にある太い骨を脛骨、外側の細い骨を腓骨といいますが、脛骨高原骨折は脛骨の上

でプレートをどつするか判断します。「取るか置いておくか悩んでいる」ということなので、おそらく骨がくつき、担当医との間でそんな話になったのではないかと推測します。

最近の手術で使われるプレートやスクリューの材料は人間の体と親和性が高いので、入れ続ける方が多いからです。痩せてい

ていることでどれだけ困っているか。患者本人にしか分からないので、入院、手術をしてまで取りたいかどうかをよく考えて判断してください。
(兵庫県整形外科医会、新倉隆宏 Ⅱ西宮市、兵庫県立西宮病院整形外科部長)
◇第1、3、4日曜に掲載します。

プレート、違和感あれば除去も

部つまり膝関節面の骨折です。骨折部のズレがない場合はキプス固定で治療することもありますが、多くの場合、今回の相談のように骨折のズレを直しプレート、スクリュー(ねじ)で固定する手術を行います。

通常、手術後1年ほどすれば骨はくっついてくるので、そこ

けていても基本的に害はありません。なので医学的にはこれらを抜くことが必須ではありません。ただし、強烈な痛みがあったり、腫れや熱があったり、膿が出たりする場合は患部に細菌が感染している時の症状ですので、抜去手術が必要です。このような場合以外であれば、取る

る人や高齢女性ならなおのことでしょう。

当たり前ですが、除去のためには手術が必要になり、どんな手術にもリスクがあります。「もう一度手術は嫌」なら取らなくてもいいし、痛みや違和感の方が勝るなら取ればいいと思います。決定打は、プレートが入っ